

【山形県東根市】

東北地方における 2010 年時点の人口指標が 9.0 以上であり、なおかつ経済指標が 60 以上の市区町村は、青森県六ヶ所村、岩手県滝沢市、宮城県大和町、宮城県富谷町、山形県東根市、福島県西郷村、福島県大熊町の 7 つである。これらの自治体のうち、山形県東根市は、1980 年から 2010 年にかけての出生率の落ち込み幅が最も小さくなっている。また、2010 年時点で東根市の普通出生率は 9.6 人であり、経済指標は 62.1 となっており、人口指標と経済指標がいずれも山形県内で最も高い市区町村となっている。

山形県東根市は、山形盆地の北部に位置し、山形市から北へ 20km、車で約 30 分、東は宮城県仙台市に隣接し、車で約 1 時間の位置にある。1964 年に山形空港が民間空港として供用開始され、東京など首都圏へも約 1 時間で行くことができる。また、1999 年には山形新幹線のさくらんぼ東根駅が開業し、電車でも 3 時間ほどで東京など首都圏へ行くことができる。

交通機関が発達し、空港周辺に東根大森工業団地・山形臨空工業団地が立地し、電子及び精密機械等の企業が数多く集積したこと、他地域からの転入が増え、急速に工業都市として発展してきた。

一方で山形盆地は、全国でも有数の果樹生産が盛んなところである。中でも東根市はさくらんぼの生産では全国一の約 22%を占め、ほかにも、もも、ぶどう、りんご、ラ・フランス（洋梨）など四季の果物が豊富である。特にさくらんぼの「佐藤錦」の銘柄の発祥の地として有名である。生産農業統計による農業産出額をみると 1975 年 105 億円、1990 年 173 億円、2006 年 127 億円と推移しており、1990 年をピークとしてやや減少傾向にあるものの 100 億円以上を維持している。

2010 年国勢調査における産業別就業者数及び構成比をみると、第一次産業 3,212 人（13.7%）、第二次産業 7,463 人（31.9%）、第三次産業 12,749 人（54.4%）であり、第一次産業の割合が全国平均と比べ高くなっている。

東根市は東根市総合計画（1973 年～）を策定してから、区画整理事業をはじめとする定住人口の増加施策、高速交通網などの都市基盤整備、生産性の高い農業などの産業基盤強化等に取り組んでおり、子育て世代を含む生産年齢人口が増え、出生率が高くなっていることがうかがえる。